

## 保険監督者国際機構（IAIS）年次総会にて 当社のテレマティクス事業をプレゼンテーション

2018年11月14日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）は、11月8～9日にルクセンブルクで開催された保険監督者国際機構（IAIS）第25回年次総会において、執行役員北原道夫がパネルセッションに登壇、当社テレマティクス事業を題材としたプレゼンテーションを実施いたしました。

今般のIAIS第25回年次総会には世界各国から約450名の保険監督者や保険会社が参加する中、当社はIAISの指名を受け、「ビッグデータとAIが保険業界・保険監督に与える影響」をテーマとしたパネルセッションに登壇しました。パネルセッションの中では、会社概要の紹介及び当社が販売・推進するテレマティクス自動車保険の商品・考え方を題材としたプレゼンテーションを実施し、ビッグデータの活用によるお客さまへのメリットの提供について触れたうえで、当社が安全・安心なクルマ社会の実現への貢献を目指していることについて説明しました。また、Q&Aセッションにおいては、ビッグデータとAI活用の進展が進んでいく中、他業種との提携や新規参入者との公平な競争条件確保の課題、消費者への丁寧な説明やイノベーション理解促進に向けた保険監督者との対話の重要性等について、コメントしました。

当社は中期経営計画「AD Vision 2021」において先進性を追求し、特色ある個性豊かな会社の確立を目指すことを掲げています。今後も引き続きテレマティクス、ICT、ビッグデータやAIの活用等、当社の先進的な取り組みについて、国内のみならず海外に対しても情報発信を行ってまいります。

### 《北原執行役員が参加したパネルセッションの概要》

テーマ：ビッグデータとAIが保険業界と保険監督へ与える影響

日時：2018年11月9日 9時30分～10時45分

場所：ヨーロッパ・コンベンションセンター・ルクセンブルク

司会者：ビクトリア・サポルダ氏（IAIS執行委員会議長、英国イングランド銀行理事）

登壇者：北原道夫氏（当社執行役員）

レイ・ファーマー氏（全米保険監督官協会副議長、米国サウスカロライナ州保険長官）

フランク・グランド氏（ドイツ連邦金融監督庁保険年金監督局長）

ブレンダ・クード氏（米国ジョージア大学教授）

クリスチャン・シュミット氏（ジュネーブ協会理事）

### 《北原執行役員によるパネルセッションでのプレゼンテーションの様子》



### 《北原執行役員の登壇後のコメント》

今般、このような歴史ある国際的なイベントに、当社を代表して参加できたことを光栄に思います。当社が目指す「特色ある個性豊かな会社」の姿を、テレマティクス自動車保険やビッグデータ活用等の取り組みを通じて、世界の方に知って頂く貴重な機会となりました。今後も、国内外の様々な場で情報発信を行うとともに、関係する方々との意見交換も積極的に行っていきたいと考えます。

#### (ご参考) 保険監督者国際機構 (IAIS) について

保険監督者国際機構 (International Association of Insurance Supervisors : IAIS) は、1994年に設立された、世界の収入保険料総額の約97%に相当する約140の国の200以上の管轄区域の保険規制・監督当局者から構成されている国際機関であり、日本 (金融庁) は1998年からメンバーとして参加しています。保険監督者国際機構 (IAIS) では、効果的かつ国際的に整合的な保険監督の促進による保険契約者の利益および保護に資する公正で安全かつ安定的な保険市場の発展と維持ならびに国際的な金融安定化への貢献を目的として、国際保険監督基準の策定およびその実施の促進等に取り組んでいます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDG s (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDG s 目標

